

〔古今和歌集<sup>物名</sup>〕りうたんの花

我やどの花ふみしだくとりうたん野はなければやこゝにしもくる

とものり

〔拾遺和歌集<sup>物名</sup>〕りうたん

よみ人しらす

川かみにいまよりうたんあじろにはまづもみぢばやよらんとすらん

〔枕草子<sup>三</sup>〕草の花は

りんだうは枝ざしなどもむつかしげなれど、こと花みな霜がれはてたるに、いと花やかなる色あひにて、さし出たるいとおかし。

〔武江産物志<sup>薬草</sup>〕道灌山ノ産 龍膽<sup>タキノ川チ合ニモ</sup> 目黒邊ノ産 コケリンダウ<sup>アスマカ山ニモ</sup>

志村邊ノ産 武者リンダウ

〔佐渡志<sup>五</sup>物産〕龍膽 方言リンダウ 山中ニアリ、又蔓龍膽、春龍膽モ路傍ニ見ルコトアリ、

〔大和本草<sup>九</sup>雜草〕センフリ。トウヤクトモ云、白花サク又淡紫花アリ、白花ノ者尤苦シ、山ニ生ズ、小草也高サ五六寸ニ不過、葉ハ龍膽ニ似テ小也、葉モ花モキハメテ苦シ、虫ヲコロス、倭俗是ヲ胡黃

連ト云非也、胡黃連中華ヨリ來ル別物ナリ、或曰、倭方ニ胡黃連ト云ハ、センフリヲ可用ト云、是ヲ用テ糊トシ、表褙ヲシ、屏風ヲ張り、紙ヲ續ケバ虫クハズ、

〔和漢三才圖會<sup>九十二</sup>末〕當藥 正字未詳 俗云世牟不利

按當藥播州三木郡多有之、苗高五六寸、一根數莖、其莖細而淡紫色、葉似地膚草<sup>キ</sup>而小、七月開花形似桔梗花而小、色黃有無花者、根細長黃色、

氣味<sup>大苦</sup> 倭方丸散諸蟲積聚藥入用、或有代胡黃連用之者不可、今人用染兒衫衣黃色也、云能避

蚤虱

〔重修本草綱目啓蒙<sup>八</sup>山草〕龍膽